

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 26 年 11 月 18 日(火) 18 時 30 分～20 時 15 分
3. 理事総数：9 名
4. 出席者 監事：宇田薫
理事：比嘉靖、安里克也、比嘉一仁、石川丈、土田真也、田村浩介、山城峻、下里綱、久貝明人
5. 欠席者 理事：桑江良貴
6. 議長選任：定刻に至り、本日の第 8 回理事会は定数を満たし有効に設立した旨を告げ、議長の選任を諮ったところ、満場一致をもって県立中部病院 比嘉靖氏を議長に任命した。続いて審議事項に入った。
議事の経過の要領及び議案別議決の結果。

【審議事項】

1) 事務局

1. 会員動向について 【承認】

【入会：6 名】

2. 県民健康フェア実行委員の推薦について(12 月 3 日までに返信) 【継続審議】

実行委員会：12 月 10 日(水)19：30～ 沖縄県医師会館 2 階 会議室 2 にて
⇒事業部にて人選。

2) 田村理事(広報部)

1. パンフレット、リーフレットの予算について 【継続検討】

予算立ての段階では、県民向けに作業療法(士)自体の紹介的な内容で作成予定だったが、地域ケア会議も踏まえた内容(介護予防や認知症等も)を検討している。
⇒田村理事を中心に内容を再検討。

3) 土田理事

1. 「一般社団法人沖縄県作業療法士会 共催・協賛・後援規程(案)」について 【継続審議】

共催・協賛・後援規程(案)を提出

共催・後援等の打診について、会として規程を設けておいたほうが対応しやすいのではないかと(その都度協議するのではなく、規程に照らして判断できる)。また、会員が主体となって行う勉強会等の広報について、後援の形式と学術部に登録されている研究会への対応に齟齬がないように調整したい。

なお、共催・協賛・後援については法的には根拠のない用語であり、各団体が定義しながら使用している。今回の案は県外のリハビリ関係団体の規程を参考にしながら、従来の当会の対応と矛盾が生じないように文言の整理を行った。

- ・共催については本会が他団体とともに主催に入るもので、申請を受けるという形は不自然ではないか？
→他団体からの要請で、共催という形での名称の掲示を求められることがある。その際には企画等の詳細を提示して申請いただくことが必要になる。上記については申請を受ける形を残すこととする。
- ・「協賛金等の負担を伴う協賛」については定義不要ではないか？
→協賛金等の協力実績あり。協賛金「等」という文言から、直接の協賛金支出以外にも、広報協力等で当会の経費を使用することも考えられるので、上記定義は残すこととする。
- ・「当会の会員が主体となった任意団体が、本会会員にとって有益と判断される事業を行う場合には当会の後援を受けることができ、その後援の内容は名義の掲示と広報の支援である」旨の規程は不要ではないか？
→学術部に登録している研究会は学会発表あるいは学術誌投稿の義務を負って、FAX による広報および活動費の提供を受けている。上記規定があれば、毎回後援を受ける手間はかかるが、研究会登録しなくても広報の支援を受けることができてしまう。研究会登録のメリット感が薄れてしまわないか？

※なお、広報支援についてはホームページへの掲載のみとする方法もあるが、これについては現在、特に後援事業に限らず掲載対応していることから、後援事業と非後援事業の広報協力で差がないことになる。

→今回審議の規程に FAX 等の具体的な文言は入れる必要はないが、会員にとってのメリットを考えると積極的に広報されるほうが良い企画もある。後援の申請・承認を経た企画は FAX までの対応を可能とする。登録研究会の広報は、企画ごとに後援申請等は不要で、自動的に広報されるので、この点が研究会登録のメリットとなる。

⇒上記を踏まえて、規程(案)の文言を読み込み、細部調整。次回理事会で決定できるようにする。

4) 比嘉会長

1. 次年度予算について 【継続審議】

⇒12 月 5 日までに財務へメールで提出。その後調整し、次回理事会で再審議。

2. 支部制確立に向けて 【継続審議】

- ⇒・支部としては、「北部、中部、那覇、南部、宮古、八重山」という分け方を検討している。
- ・すぐにスタートするのは困難な為、今年度は各支部のキーパーソンを育成し、来年度で土台作りをしていきたい。
 - ・地域ケア会議への対応を考慮すると、事務員の常駐も必要とされる(電話対応等)。
 - ・県士会員の意識向上や人材育成の為にも、各地での説明会的なものも必要ではないか。
 - ・人材の把握や活動費の確保(県士会費納入率向上)を考慮すると、会員名簿の配布も要検討。

【報告事項】

1) 事務局

局長：久貝明人

1. 会員の動向について

【住所変更：1名】

2. 受理文書について

日本作業療法士協会(第49回日本作業療法学会開催のご案内・学会趣意書、地域連絡費の振込について)、他都道府県士会ニュース・会報誌・学術誌・研究冊子(京都、千葉、大阪、島根、広島、群馬、北海道、奈良、山口、兵庫、福岡、三重、長野)、他団体ニュース・会報誌・学術誌・研究冊子(沖縄県理学療法士協会、沖縄県手をつなぐ育成会、沖縄県精神保健福祉会連合会、沖縄県社会福祉協議会)、沖縄県学童保育研究大会実行委員会(第23回沖縄県学童保育研究大会後援ご承諾のお礼のご案内、ポスター送付)、沖縄子ども研究会(第8回九州沖縄地区子ども支援ネットワーク交流学習会のご案内について)、中小企業庁事業環境部消費税転嫁対策室(消費税の転嫁拒否等に関する調査)、沖縄県歯科衛生士会(平成26年度「歯りきり元気いい歯の日」イベント実地のお礼)、沖縄県医師会(県民健康フェア開催に係る実行委員会の委員推薦並びに開催について、第7回県民健康公開講座『あなたの健康は家族の健康』の後援についてのお願)、テクノイド協会(福祉用具・介護ロボット(移乗支援分野)講師養成研修会開催に伴う受講者選出について)、沖縄県介護支援専門員協会(第11回沖縄県介護支援専門員研究大会への後援名義の使用について)、琉球大学医学部附属病院がんセンター(「在宅医療を支える人のための研修会」における後援名義使用願いについて)、沖縄県知事公室秘書課(H26年度沖縄県功労者表彰式典のご案内)、沖縄県総合福祉センター(沖縄県総合福祉センター・小規模入居団体紹介案内)、沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課(第12回沖縄県作業療法学会 シンポジスト派遣について)、沖縄コンベンションセンター(『沖縄MICEコンテンツトレードショー2014』のご案内)、沖縄県子ども生活福祉部福祉政策課(就労訓練事業(中間的就労)説明会開催について)、北那覇税務署(年末調整等説明会について)、ドキュメンタリー映画「言葉のきずな」長野事務局(「言葉のきずな」自主上映会のご案内)、沖縄県福祉協議会(福祉の就職フェア2014～の開催について要項、チラシ、ポスター)

3. 「地域在住高齢者の認知機能低下予防に関する作業療法士の関与と効果検証」についての担当者の紹介について：中野小織氏(北中城若松病院)に承諾していただきました。

4. 事務員の勤務について

11月19日(水)より上原さん復帰。事務員2人の出勤が下記の通りとなる。

※メールアドレスは2人が共通のものを使用(otjimuin@yahoo.co.jp)

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00			上原・又吉		上原	
13:30~16:30		又吉		又吉		

2) 財務部

部長：山城峻

1. 会費について(10月1日~10月31日)

会費収入36件(県士会指定口座への直接納入：17件、コンビニ納入分：19件)

2. 会費納入率(10月末時点)

平成26年度：51% 平成25年度：74.1%

3. 会計打合せ：10月28日(火)

3) 学術部

部長：石川丈

1. 九州士会長会主催研修会について

日程：H27年2月7日(土) 8日(日)

場所：(第一候補)長崎市立図書館 新興善メモリアルホール
(第二候補)長崎市民会館 大会議室

講師：村井千賀氏(厚生労働省老健局課長補佐)
岩崎氏(医薬品総合卸 ATOL)

参加者：80名前後予定

県士会推薦者等は地域包括ケア推進委員会の協力を得ながら、調整していく。

4) 教育部

部長：土田真也

1. 第11回沖縄県作業療法学会 教育部ブース対応：11月2日 手帳処理6件、その他問い合わせ5件
2. 地域ケア会議研修会 受付（ポイントシール配布）対応：平成26年11月8日・9日
3. 現職者選択研修（精神障害）：12月14日開催予定 現在受講者募集中

会場：天久台病院

時間：9時30分～16時50分

講師：嘉数栄司氏（沖縄リハビリテーション福祉学院）

大城圭氏（琉球リハビリテーション学院）

上江洲聖氏（日赤安謝福祉複合施設）

比嘉博子氏（勝連病院）

4. 事例検討会②：平成27年1月25日 現在発表者募集中。

5. 日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修 共通「管理運営」：1月31日・2月1日

6. 最近の会員・非会員状況（報告）

- 1) 地域包括ケアシステム研修会受講者 2014年11月8日

受講者31名→日本作業療法士協会未入会者は1名 ※自己申告

県士会未入会者は上記1名を含む5名 ※県士会名簿2014.11と照合

- 2) 地域ケア会議研修会受講者 2014年11月9日

9時30分時点受付者26名→日本作業療法士協会には全員入会 ※自己申告

県士会未入会者は2名 ※県士会名簿2014.11と照合

※上記のほか、欠席者で1名の県士会未入会者あり。

- 3) IT機器レンタル事業研修会受講者 2014年9月13日・14日

受講者36名のうち、沖縄県内受講者34名→全員が日本作業療法士協会に入会

県士会非会員は5名 ※県士会名簿2014.11と照合

- 4) パイロット事業アンケートより

前期2013年6月 回収数539通

→日本作業療法士協会 入会446 未入会82 未記入11

沖縄県作業療法士会 入会410 未入会121 未記入8

後期2014年2月 回収数476通

→日本作業療法士協会 入会371 未入会77 未記入28

沖縄県作業療法士会 入会339 未入会108 未記入8

- 5) パイロット事業北部研修会 2013年8月23日とその後の入会状況

パイロット事業の北部地区研修会を2013年8月23日に開催。

この回は特例で非会員の受講も可能（その旨の広報は北部地区施設のみ。全県での広報は会員のみの受講と表記）。

→その後2013年9月～2014年3月の理事会に新規入会審議に挙げられた北部地区施設所属の会員：0名

※理事会資料をハンドサーチにて調査

5) 事業部

理事：下里綱

1. OTフェアについて（10月17日の反省会より）

- (1) OTフェアスケジュール

日時：平成26年9月28日（日）10:00～15:00

場所：サンエー西原シティー（1F食品売り場側催事場）

集合：8:30

準備開始：9:00

- (2) 当日気づいたこと（反省点）

- ・作品展示に時間がかかり、開始時間が遅れてしまった。
- ・プロジェクター接続コードを忘れてしまい、スタッフが途中で取りに行く手間ができた。
- ・創作活動に来場者が殺到し、作業スペースの確保が不十分であった。途中、作業台を増やして対応した。また、指導スタッフが限られたため、次回からはなるべく多くのスタッフが作業できるように改善が必要。
- ・認知症ミニ講座に多数の来場者が参加されたが、マイク等の音響設備が無かったため、聞き取りにくかった。急遽、拡声器を購入し対応したがマイクなどの音響設備が整うことが望ましい。
- ・入り口付近に展示品や創作活動があったため、中に入りづらい雰囲気であった。
- ・相談コーナーに来られた方がほとんどいなかった。

- (3) 次年度に向けて（このようにしたらいいかも）

- ・昨年に比べ、来場者が参加するブースが増えたため、次年度もミニ講座や創作活動を取り入れていきたい。
- ・ミニ講座に必要な機材の準備が必要。
- ・パンフレットは来場者が持って帰りやすいため、多数の団体へ協力依頼を行いたい。
- ・就労支援関連のパネルまたはパンフレット（就労支援を促進している企業や病院など）を用意することもOTの職域拡大に対するアピールに繋がると感じた。
- ・次年度も何かテーマを持ってOTフェアを開催していきたい。

(4)まとめ

- ・全体的には大きなトラブルもなく大成功に終えた。創作活動を復活させ、認知症ミニ講座を開催したことも集客に繋がった。委員一同、少なくとも作業療法をアピールできた実感した。
- ・造形研究会から大きな作品を提供して頂き、作業療法のインパクトとしては与えられたのではないかと。小児の展示ブースは昨年同様盛況であった。
- ・当日、運営にあたった会員が自身の役割を全うし作業療法の啓発活動を行うことにより、県士会員としての意識を高めることができた。

6)広報部
特になし。

理事：田村浩介

7)福利厚生部

部長：桑江良貴

1. 県学会託児所について

日時：平成26年11月2日(日)8:30~17:00

場所：沖縄県総合福祉センター 503教室

依頼先：ゆいキッズ那覇(託児スタッフ4名)

預かり児合計：6名(3会員) 0歳児：1名 / 1歳児：1名 / 3歳児：2名 / 5歳児：2名

振り返り：・依頼先(ゆいキッズ)については、昨年からの依頼しており、関係を良好。

- ・依頼についてもすぐに了承し、状況をやり取りできている。
- ・当日も、時間前から待機、開場と同時に準備、確認、実施へスムーズに流れている。
- ・急な準備(ティッシュ・ゴミ袋・雑巾・お水)の要求はあったが、対応可能な範囲であった。
- ・特に大きな事故や報告もなく、終えている。
- ・託児について、今回は学会の受付と一緒に案内したが、利用者について増えることなく例年通りの人数であった。
- ・問い合わせ等については、学会参加受付と別に直接福利厚生部への(メール)連絡を案内していたが、1件については、参加申し込み書だけに記入され、当部への連絡なく、後に電話を入れ確認をとる状況があった。(学会参加書への依頼記入欄があったためもれなく行え大きな混乱にはならなかった)。
- ・利用者には、発表者も含まれており、「託児所がないと参加できなかった」という声もあった。
- ・申し込み手続きも大きな混乱はなく終えている。

8)渉外部

部長：安里克也

1. 心の芸術・文化フェスティバルについて

9)保険部

理事：比嘉一仁

特になし。

10)比嘉副会長

1. 今週に1月11日のMTDLPの研修案内をFAX予定

2. 生活行為向上マネジメント職について：「今こそ、ゆいまーる」色：オレンジ 文字：白 フォント：丸ゴシック

11)比嘉会長

特になし。

12)その他

1. 第12回沖縄県作業療法学会について

学会担当理事：石川丈

参加者：会員144名、他職種4名、学生1名 合計148名

演題応募数：29題 ※抄録集が100冊残っています。

11月27日(木)に沖縄県高齢者介護福祉課と恩納村地域包括支援センターにお礼に伺う。

反省会がまだ開催されていないため、早急に調整していく。

2. 法人移行準備委員会

法人移行準備委員会：石川丈

特になし。

3. 地域包括ケアシステム推進委員会

地域包括ケアシステム推進委員会：田村浩介

(1) 地域包括ケアシステム研修会アンケート

(2) 11月以降の予定

11月2日(日)	第12回沖縄県作業療法学会(地域包括ケアシステムに関するシンポジウム)
11月4日(火)	第7回地域包括ケアシステム推進委員会
11月8日(土)	地域包括ケアシステム研修会 これからの沖縄県の地域ケア会議を考える～大分県の取り組みから学ぶ～
11月9日(日)	地域包括ケアシステム研修会 これからの沖縄県の地域ケア会議を考える～大分県の取り組みから学ぶ～ 実践編
11月14日(金)	第8回地域包括ケアシステム推進委員会
11月23日(日)	沖縄市まちづくりシンポジウム～就労支援を考える～
12月21日(日)	コーチングセミナー(講師：島袋十史樹氏)
1月11日(日)	生活行為向上マネジメント研修会
1月18日(日)	リハビリテーションの視点を活かした環境づくり(仮) 主催：琉球リハビリテーション学院
1月25日(日)	県主催介護予防研修会(予定)
1月31日(土)	認知症を地域で支える(仮) 主催：琉球リハビリテーション学院
3月7日、8日(未定)	訪問リハビリテーション実務者研修会